

科目名	環境都市工学演習（1b）	科目コード	51450
-----	--------------	-------	-------

学科名・学年	環境都市工学科・4年（プログラム1年）
担当教員	環境都市工学科全教員
区分・単位数	履修単位科目・必修・1単位
開講時期・時間数	後期，30時間【内訳：講義0，演習26，実験0，見学0，その他4】
教科書	香坂文夫「S Iで攻略土木計算」オーム社 1997.11
補助教材	
参考書	

【A．科目の概要と関連性】

前半の授業では，卒業研究でおこなうプロジェクトの課題を選定し，関連の基礎知識を習得するために，配属された研究室で学習する。後半の授業では，専門科目の演習問題を解き，高専での4年間の学習到達度を確認する。

関連する科目：全ての科目

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(D)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と，成績評価上の重み付け，各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
卒業研究のための準備活動（課題の選定など）をおこなう。	25%	g1
卒業研究の遂行に必要な基礎知識を習得する。	25%	e1
都市施設や環境関連施設の構造的な特徴や機能を理解する。	50%	d1

【C．履修上の注意】

各研究室での学習は，次年度に受講する卒業研究の準備段階として重要である。卒業研究でおこなうプロジェクトの課題の発掘や，その遂行に必要な基礎知識の習得に努めることを期待する。

教科書（問題集）の内容は，就職試験や編入学試験の準備に適したものになっている。後半の授業に予定されている試験（5回）は，教科書での学習の到達度を測るものになっている；しっかりと自学して受験することを期待する。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

定期試験（0%）

その他の試験（50%）

レポート（50%）

その他（0%）

【E . 授業計画・内容】

後期

回	内容	備考
1	ガイダンス	
2	配属された研究室での専門知識の習得（1）	
3	配属された研究室での専門知識の習得（2）	
4	配属された研究室での専門知識の習得（3）	
5	配属された研究室での専門知識の習得（4）	
6	配属された研究室での専門知識の習得（5）	
7	配属された研究室での専門知識の習得（6）	
8	配属された研究室での専門知識の習得（7）	
9	教科書（問題集）による専門科目の学習（1）	
10	教科書（問題集）による専門科目の学習（2）	
11	試験（第1回）	
12	試験（第2回）	
13	試験（第3回）	
14	試験（第4回）	
-	前期末試験	試験期間のため休講
15	試験（第5回）	